

幼保園児の生活状況調査の考察(I)

(小児期の成人病危険因子の効果的 検出方法の開発に関する研究)

大木師礎生 池田 宏 松田光彦 松本寿通 木屋和見
安達 功 阿部正視 少名子正彬 宮地直丸

【要約】 成人病の初期徴候が小児からみられると言われている。私どもはその観点から幼保園児の日常生活状況を調査した。今回はカウプ指数1.8以上の園児と一般園児との生活の相違を調べたが、母親の就労等が影響するものと考えられた。また、園児の血液生化学検査について保護者の意識調査を行ったところその希望者が多いことを知った。

【見出し語】 幼保園児の生活状況 肥満児の日常生活 母親の就労 血液生化学検査の意識調査

【研究目的】
近年、本邦では成人病の予防が大きな課題となっており、その発病因子が幼児期の生活習慣、殊に食生活が影響されているとも考えられている。私共は全国保育園児ならびに幼稚園児の日常の生活状況を調査して、成人病に影響を及ぼす因子を知り得るかを調査すると共に、保護者の血液生化学検査に対する意識調査を実施した。

【調査方法】
私共は日本保育園医協議会の会員5名に依頼し、全国の大中都市と思われる東京都目黒区、福岡市川崎市、千葉市、柏市の保育園9園、幼稚園8園

の2,081人の園児保護者に調査票を配布して調査を行った。

この度の報告はこの中より、2幼稚園、4保育園の合計550人の中より3歳から就学前までの男女460人について報告する。

【調査成績】

幼保園児の性別は、男236人(51.3%)、女224名(48.7%)であり、カウプ指数1.8以上のものは女子12人、男子7人の計19人(4.1%)で、女子に多くみられた。

出生時体重との関係ではカウプ指数1.8以上の男子は平均3.366g、女子3.254gで全国平均

値と大差は認められなかった。また、全国出生児の90%タイル値にあたる男子3,710名、また、女子3,670名を超えるものは男子1名、女子2名の計3名(15.8%)で、今回の調査全園児460人では67人(14.6%)であり有意差はなかった

表1. 住宅環境

カウプ指数別 \ 住宅種別	独立	集合	その他
18以上	10	9	0
全調査児	165	188	8

住宅環境についてはカウプ指数18以上の園児は、独立家屋居住者は10人(52.6%)、集合住宅9人(47.4%)で、全調査園児の住宅環境は表1の如く、独立家屋165人(45.7%)、集合住宅、88人(52.0%)であった。

表2. 母親の就労状況

カウプ指数別 \ 就労の有無	有	無	その他
18以上	12 (63.2%)	7 (36.8%)	0
全調査児	150 (43.9%)	176 (51.5%)	16 (4.6%)

職業は母親についての関係を調査したが、専業主婦は回答者342人の中で176人(51.5%)の約半数近い母親が何らかの職業を持っていることを知った。また、カウプ指数18以上の園児の母親は専業主婦7人(36.8%)と一般児より母親の就労が多いことを知った。

家族構成については両者ともに差はなく、4人家族が最も多く、第2位は5人家族となっている。1人っ子は全国調査数の16.8%であったが、カウプ指数18以上のこどもは2人(10.5%)で

あり、家族構成による影響は考えられなかった。

表3. 園児の性格

カウプ指数別 \ 性格	活発	おとなしい	普通	その他
18以上	9 (47.4%)	0 (0%)	10 (52.6%)	0
全調査児	147 (40.5%)	170 (47.0%)	39 (10.8%)	6 (1.6%)

遊び、性格については、カウプ指数18以上の園児が一般児より外遊び(47.4%)が好きであり、性格も活発(47.6%)なこどもが多くみられた。カウプ指数18以上のものと、一般園児とでは、朝食の欠食状況、夕食後のおやつ摂取状況については、現在までの調査では両者に差はなく、おやつの種類でも、スナック菓子、甘いケーキ、果物等が両者とも好まれていた。

血液生化学検査についての保護者の意識調査では、解答者356人中293人(82.3%)の保護者が採血検査を希望していることを知った。

【考察】

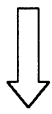
小児期における成人病予防の観点から、幼保園児の生活状況調査を行った。調査園児460名中カウプ指数18以上のものは19名であり、母親が就労している園児に多く、性格は寧ろ活発で外遊びを好んでいた。朝食の欠食、夕食後のおやつ摂取には両者に差はなかった。血液生化学検査希望の保護者意識が高く、今後はこの生化学検査との関係について調査を進めていきたい。

【文献】

- 1) 厚生省児童家庭局：「昭和55年乳幼児身体発育調査結果報告」
新小児医学大系 28 188頁



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



【要約】成人病の初期徴候が小児からみられると言われている。私どもはその観点から幼保園児の日常生活状況を調査した。今回はカウフ指数 18 以上の園児と一般園児との生活の相違を調べたが、母親の就労等が影響するものと考えられた。また、園児の血液生化学検査について保護者の意識調査を行ったところその希望者が多いことを知った。